

一般会計の主な事業と予算額

総務費	一般的な管理事務などに使われるお金
川越ナンバー関連事業	80万円
地域振興ふれあい拠点施設整備	4,243万8,000円
市税コンビニエンス・ストア収納（軽自動車税）	218万4,000円
防犯のまちづくり推進	3,239万1,000円
東部地域ふれあいセンター建設	4,871万5,000円
川越市DV防止対策ネットワーク会議設置	19万4,000円
民生費	福祉・年金・医療などに使われるお金
地域福祉活動支援	219万9,000円
精神障害者小規模生活支援センター運営支援	815万円
健康長寿奨励金支給	2億61万7,000円
民間保育所補助等	4億2,970万7,000円
衛生費	保健衛生、環境衛生、ごみ・し尿処理などに使われるお金
市域地球温暖化対策基礎調査	200万円
住宅用太陽光発電システム設置費補助	2,800万円
屋上緑化・壁面緑化補助金交付事業	200万円
アスベスト対策事業	2億196万円
産業廃棄物不適正処理監視	958万円
新清掃センター建設	1億1,000万円
労働費	失業対策や労働者のための施策などに使われるお金
就労支援講座	30万円
就労支援事業	244万円
農林水産業費	農産物の生産振興や農地管理などに使われるお金
主穀作振興	2,887万1,000円

アグリチャレンジャー支援事業	1,000万円
商工費	商工業振興・観光事業などに使われるお金
商店街振興対策補助	4,300万円
工業団地拡張事業	500万円
川越まつり協賛会補助	7,304万円
地域再生事業	46万7,000円
小江戸川越春まつり	3,250万円
新河岸川観光舟運	407万5,000円
土木費	道路・公園などの維持補修や整備などに使われるお金
広域幹線道路整備推進	502万8,000円
本川越駅周辺地区整備	4億440万円
鯨井公園整備	1,313万円
幹線道路（市道）整備	3億50万円
生活道路（市道）改良	6億100万円
歴史的地区環境整備街路	1億4,966万8,000円
ゆずりあい道路整備	5,000万円
消防費	消防・防災などに使われるお金
防災施設設置管理	3,999万6,000円
自主防災組織活動補助	710万円
教育費	小中学校の運営や生涯学習などに使われるお金
月越小学校改築等	7億9,376万6,000円
学童保育室運営管理	4億1,056万5,000円
高階地区公共施設建設	4億8,495万6,000円
スクールランチ事業	1,203万円
子ども・学校・きらめき体験事業	228万円
すくすく子どもサポーター配置事業	674万1,000円

消防費

災害対策

災害に強いまちづくりを推進するため、災害備蓄庫・無線通信設備・災害用給水井戸などの防災施設の整備・充実を継続します。また、市民の皆さんによる自主防災組織の結成を積極的に促進し、市民の皆さんと行政の協働で効率的な防災活動が行えるように、引き続き支援します。

川越市地域防災計画の見直しを行い、市民の皆さんが安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

教育費

小中学校施設整備など

改築中の月越小学校は、今年度に完成します。小中学校の施設整備については、児童・生徒の安全確保に努めながら、教育環境の向上を図ります。

学童保育については、老朽化した施設の改善を図るため、月越・古谷・高階の各学童保育室の改築を進めます。

高階地区公共施設建設

出張所・公民館・図書館・児童青少年施設の機能を持つ複合施設として、建設に着手します。

地域の教育活動支援など

家庭・地域社会などと連携を図りながら、「川越市中学生社会体験事業」を継続して実施します。また、児童・

生徒の感性・社会性・自律心を高くむため、「子ども・学校・きらめき体験事業」を実施します。

すくすく子どもサポーター配置事業

通常学級に在籍する障害のある児童・生徒を支援するため、「すくすく子どもサポーター配置事業」を実施します。

特別会計の主な事業

水道事業

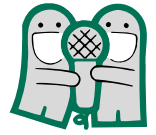
安全な水道水の安定供給を維持するため、老朽化した中福受水場および仙波浄水場設備の整備を実施します。

公共下水道事業

生活環境の改善および公共用水域の水質保全を図るため、汚水管の整備および合流式下水道の改善を行います。市街地の浸水防除に向けた雨水対策を、関係機関と連携を図りながら進めます。

◎ 「平成18年度予算の概要」では、完成前の施設・制定前の条例に付く（仮称）を省略しています。

* 「平成18年度の川越市予算説明書」は財政課（本庁舎四階）・図書館・公民館でご覧になれます。



Duet

デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を
紹介するコーナーです

あて先 Ⅱ 〒350-8601 川越市役所広聴広報課「デュエット係」
Ⅲ フ
ックス Ⅱ 25-2805 Ⅳ Eメール Ⅱ info@city.kawagoe.saitama.jp
* 必ず住所・氏名・年齢・電話番号をご記入ください。
* 匿名・ペンネーム希望の場合は、その旨を明記してください。

広 報の活字の大きさに
いてですが、字がやや
小さいので、新聞の活字位
にしてくればありがたい
です。

広 報の活字は、字が小さく
一通り読むと目が疲れるの
で、もう少し字を大きくして
欲しい。

塚田喜博（霞ヶ関北五丁目）

■ 広報川越から

今回の広報から、紙面を全
面的に見直しました。少しで
すが、字を大きくしたこと
お気づきになったでしょ
うか？

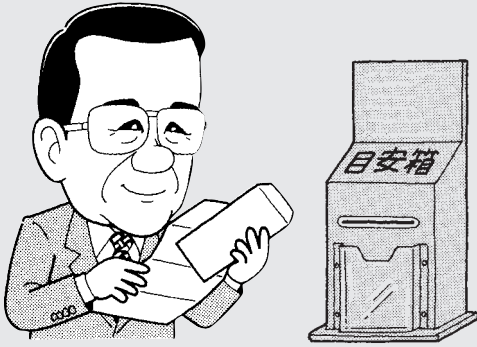
ふだんから、市民の皆さん
に親しみのある紙面に心がけ
ている広報川越。今回の見直
しは、お知らせする情報の量

と、見やすさを両立させるた
めに行いました。

市からのお知らせだけでな
く、市民の皆さんの声があっ
て広報紙はより充実します。
今後も、広報川越にたくさん
の声をお寄せください。

◎ ◎ ◎
* ふりがなは、広聴広報課で
付けました。

舟橋市長に提案 No.129



廃止された交番を、防犯体制の 拠点として有効活用できませんか

提案要旨（市民目安箱）

埼玉県警が廃止した交番を、市が再利用して地元の防犯体制の拠点にし、警察などと連携して住民の安全に有効活用できないでしょうか。

回答

近年、全国的に犯罪発生件数が増加傾向にあり、市でも、安心・安全のまちづくりは重要な課題となっております。

昨年4月に「高階交番」「久保町交番」「岸町交番」が廃止されました。それ以来、市では地元の自治会と協議を進め、「防犯推進体制の整備・促進強化地域」に指定し、防犯のまちづくりの施策を推進しております。

3つの交番のうち、久保町交番（川越市自治会連合会第5支会の小仙波町1丁目～5丁目）と岸町交番（同第8支会の岸町1丁目～3丁目）については、建物が残っております。これを、地元の防犯拠点となる地域自主防犯ステーションとして、再利用していくことにいたしました。

この地域自主防犯ステーションは、ことし10月の開設を目指しております。今後、市と地元支会・自治会・川越警察署が協議しながら、施設の整備を推進してまいります。活動内容といたしましては、「地域自主防犯パトロール」「警察などから提供を受けた各種情報の共有」「自治会を中心に、商店会・PTA・子ども会育成会・老人会などの防犯座談会の開催」「防犯活動用資機材の保管・貸し出し」「防災拠点としての資機材の保管」などを想定しております。

このことについては、市民活動支援課防犯推進担当・TEL内線2421にお尋ねください。

こんどのテーマは「ナンバー」

ことし十月から走り出す、自動車の「川越」ナンバーにちなみ、「ナンバー」にまつわる話を募集します。車のナンバーを決めるときのエピソードや、こだわりの数字など、ナンバーや数字にまつわる話をお寄せください（百五十程度）。採用された方には、粗品を差し上げます。たくさんのお便りをお待ちしています。